

令和 8 年度大学・高専機能強化支援事業
(支援 2 : 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)
【重点分野支援枠・大学】事業概要

令和8年5月申請時点

1. 基本情報

大学名	島根大学		
設置区分	国立	学校種	大学
都道府県	島根	事業期間	令和8年度～令和17年度
改組内容	研究科等の設置・増員		
重点分野	資源・エネルギー技術領域-物性科学・マテリアル分野、資源・エネルギー技術領域-省エネルギー・再生可能エネルギー分野		
事業計画名	島根大学が推進するGX時代のデータ駆動型材料開発人材の育成 ～材料×情報の融合を中核とする6年一貫教育体系の構築～		

2. 事業概要

本取組は、材料科学と情報科学を融合し、GX時代を先導するデータ駆動型材料開発人材を育成するものである。「材料エネルギー研究科」の新設を通じて、学士課程からの6年一貫型の融合教育体制を構築する。 本研究科では、材料分野と情報分野の教員を一専攻内に配置し、従来の経験依存型の材料開発から、実験・計測・解析データを活用したデータ駆動型材料開発への転換に対応できる人材を育成する。計算材料設計、組織解析、画像解析等を実践的に学ばせるとともに、水素社会を支える高機能素材、航空機エンジン用高温部材など、GXに資する先端材料研究と連動した教育を展開する。 島根県には、たたら製鉄を源流とする金属・特殊鋼関連産業が集積しており、本学が「次世代たたらプロジェクト」等で形成してきた先端金属材料研究基盤を活用できる強みがある。地域産業の研究開発型への高度化と高付加価値化を牽引し、重要部材の自立性確保、我が国の産業競争力強化、カーボンニュートラルの実現に貢献する。地方国立大学が地域産業基盤を活かし、教育・研究・社会実装を一体的に推進する「島根発の材料GX人材育成モデル」の確立を目指す。
--

3. 重点分野に係る組織

重点分野に係る組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	0	0	増員数	0
修士	材料エネルギー研究科	0	52	R9設置	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		

		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	0	52	増員数	52
学士	材料エネルギー学部	85	85	－	工学関係
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
		0	0		
	計	85	85	増員数	0

大学全体の収容定員に占める重点分野に係る組織の収容定員の割合

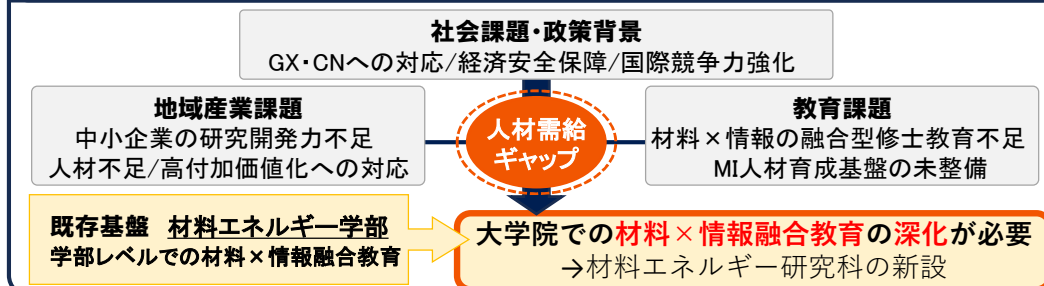
	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R8.4.1時点）	0.0%	0.0%	0.0%
増員後	0.0%	17.1%	13.4%
増分	+0.0%	+17.1%	+13.4%

事業計画名 島根大学が推進するGX時代のデータ駆動型材料開発人材の育成 ～材料×情報の融合を中核とする6年一貫教育体系の構築～

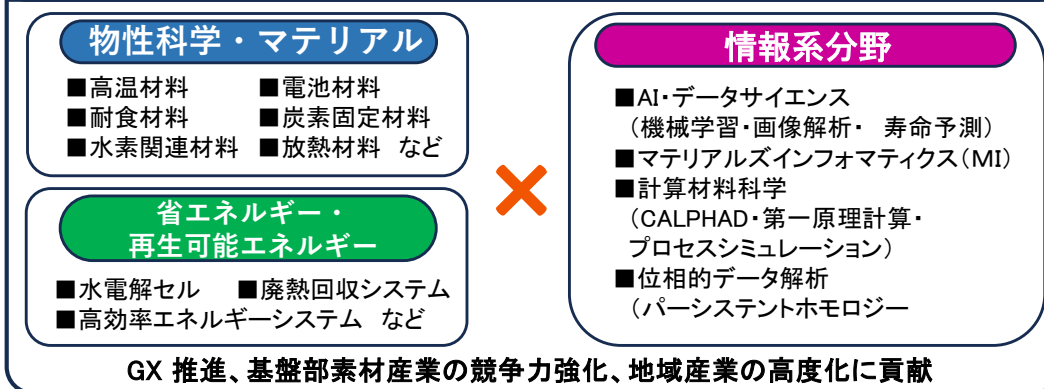
基本情報

改組内容	研究科等の設置・増員
重点分野	物性科学・マテリアル、省エネルギー・再生可能エネルギー
所在地	島根県松江市
増員する組織名(博士)	
入学定員増数及び増員時期(博士)	
増員する組織名(修士)	材料エネルギー研究科材料エネルギー専攻
入学定員増数及び増員時期(修士)	52名(R9)
増員する組織名(学士)	
入学定員増数及び増員時期(学士)	

課題・背景



重点分野への適合



育成する人材像、教育内容の特徴(新規性)、実施体制

社会課題・政策背景

「GX・カーボンニュートラル(CN)」、「経済安全保障」
「基盤部素材の高性能化・省資源化」、「地域産業の高度化」



育成する人材像

- 材料科学と情報科学を融合し、**データ駆動型材料開発を牽引する**高度専門人材
- 材料の設計開発から回収までを**エネルギー変革と一体として捉える**ことができる人材
- 社会課題を的確に抽出し、**社会実装を実現する**道筋を示すことができる人材

教育内容の特徴

- 【融合教育】**
11科目に及ぶ材料科学×計算科学の授業
- 【俯瞰教育】**
エネルギーに関する実課題を供給・需要側双方の実務家教員から学修
- 【実装教育】**
自らの研究成果で事業化・社会実装を提案

新規性

材料×情報の融合を中核とした修士課程教育
一学士課程から修士課程までの6年一貫型の教育体系の構築

地域産業と連携した「研究×教育×社会実装」人材育成

材料科学に尖った島根大学の変革

R9:

材料エネルギー研究科

R18~:

産業変革の先導拠点

R6: 先端マテリアル研究開発協創機構

R5: 材料エネルギー学部

本計画

「島根発モデル」の実現

修士教育

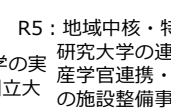
地域の産業基盤を活かし、教育・研究・社会実装を一体的に推進

R9: 材料×情報で、重点分野の人材育成
✓ 定員増52名



学士教育

R4: 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増採択



R5: 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業採択



研究

H30: 内閣府事業採択 (島根県)

✓ 定員増40名+既存学部からの振替40名

